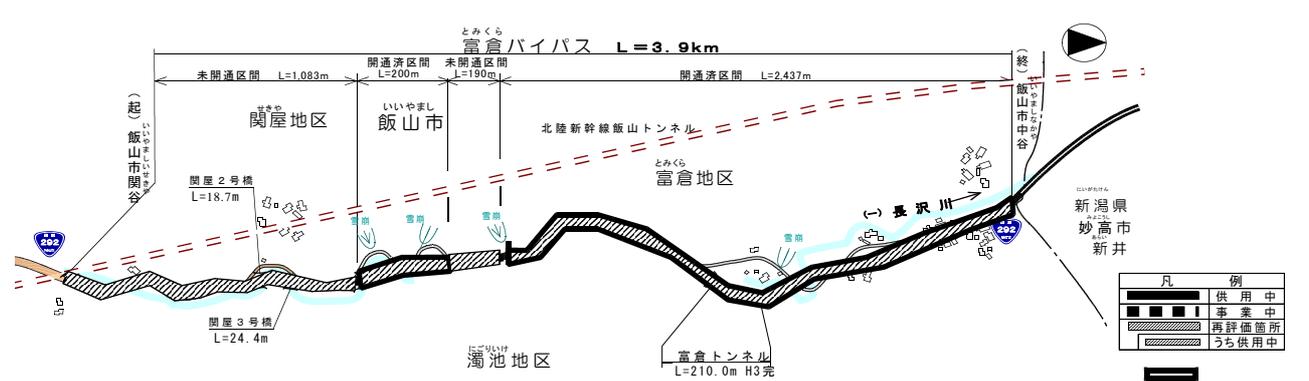


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道292号 ^{とみくら} 富倉バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長野県	
起終点	起点：長野県飯山市関屋 終点：長野県飯山市中谷	延長	3.9 km			
事業概要	一般国道292号は、群馬県長野原町から新潟県妙高市に至る延長約118kmの幹線道路であり、野沢温泉、斑尾高原等観光地を結び、また上信越自動車道や一般国道18号の迂回路や北陸新幹線飯山駅、上越駅（仮称）へのアクセスルートである。富倉バイパスは、幅員狭小、線形不良部分の解消や冬期交通の円滑な確保を目的とした延長3.9kmの2車線道路である。					
S60年度事業化	都市計画決定 なし	S62年度用地着手	S63年度工事着手			
全体事業費	約55億円	事業進捗率	90%	供用済延長	2.6km	
計画交通量	2,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 6.2	総費用 (残事業)/ (事業全体) 6.5/83 億円 (事業費：5.0/79 億円) (維持管理費：1.5/4.7 億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 40/121 億円 (走行時間短縮便益：35/104 億円) (走行費用減少便益：5.5/16 億円) (交通事故減少便益：0.17/0.52 億円)	基準年：平成20年		
事業の効果等	国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） 災害への備え（現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される） 他4項目に該当（定量的評価項目を除く）					
関係する地方公共団体等の意見	飯山市より整備促進の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	既開通区間では、幅員狭小、乗用車のすれ違い困難箇所の解消及び雪崩、落雪の危険箇所の回避が実現。（全国有数の豪雪地帯で以前は冬期間にスリップ事故や雪崩等が多発） 平成26年度までに北陸新幹線飯山駅、上越駅（仮称）が開業予定である。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに2.6kmが供用済である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成20年度末での事業進捗率は90%、用地進捗率は96%であり、残る1.3kmの工事を進め、平成23年度供用予定である。					
施設の構造や工法の変更等	平成15年度再評価で縦断計画を見直し、土留め構造物の小規模化によりコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、残区間を整備することにより、当初の目的が達成されると考えられる。					
事業概要図	 <p>事業概要図は、富倉バイパスの全長3.9kmを示しています。ルートは関屋地区、飯山市、富倉地区、濁池地区を通過し、新潟県妙高市新井に至ります。図には開通済区間（実線）と未開通区間（点線）が示されており、各区間の長さも記載されています。また、関屋2号橋、関屋3号橋、富倉トンネルなどの施設も示されています。</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。